

# 3.整備事業者向け研修資料 (特定DTC照会アプリ操作方法)

独立行政法人 自動車技術総合機構

# 1. 研修の目的と研修項目

## 研修の目的

本研修は、OBD検査システムを構成するシステムのひとつである特定DTC照会アプリの機能概要、特定DTC照会アプリを用いたOBD検査業務の流れ、特定DTC照会アプリの操作方法について把握することを目的としています。

## 研修項目

- OBD検査システムの概要
- 特定DTC照会アプリの機能概要
- アプリ操作フロー
- アプリ利用にあたって必要なもの
- ログインとログアウト
- 車両の受付をする
- アプリでOBD検査要否確認を行う
- データリンクコネクタの位置を確認する
- OBD検査を行う
- OBD検査結果を確認する
- 設定を確認する
- 関連情報を確認する

※本資料に掲載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

## 2. OBD検査システムの概要

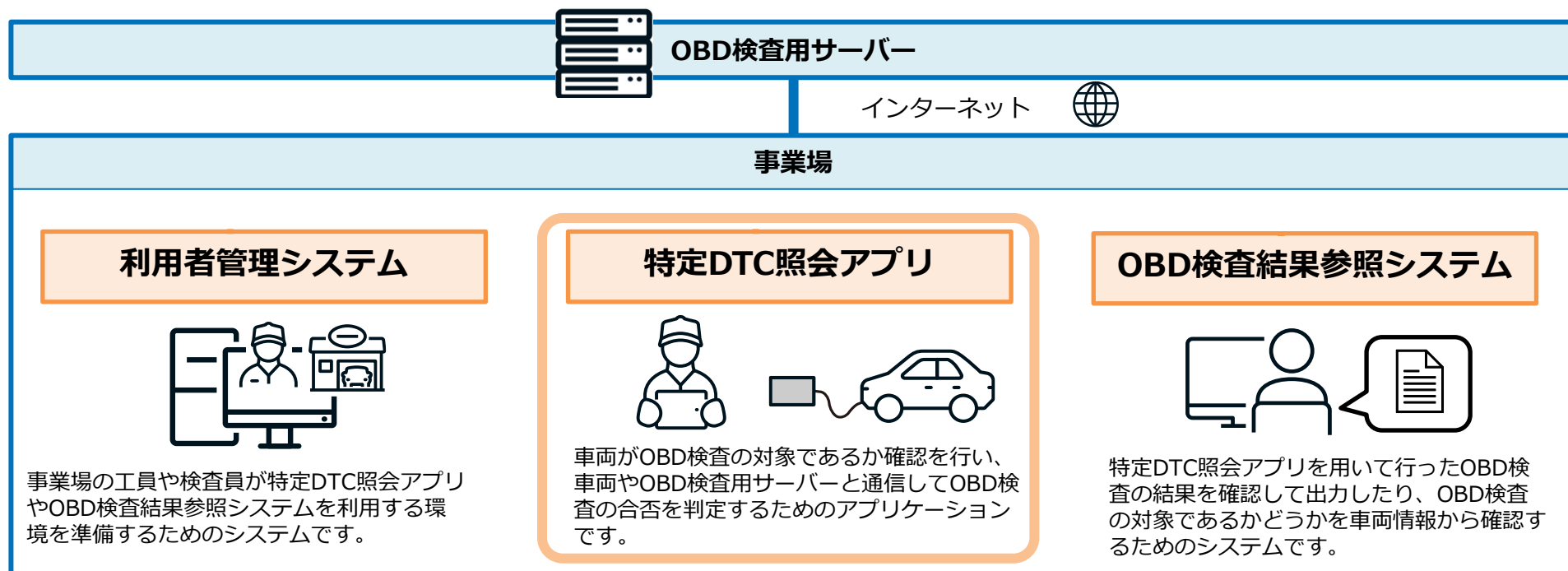
Point

OBD検査用サーバーに接続してシステムとアプリを利用

OBD検査は、OBD検査システムを利用して行います。OBD検査システムは以下のシステム・アプリで構成されています。

- 利用者管理システム
- 特定DTC照会アプリ
- OBD検査結果参照システム

各システム・アプリに接続するには、事業場からインターネット接続でOBD検査用サーバーにアクセスします。本研修資料では、特定DTC照会アプリについて説明します。

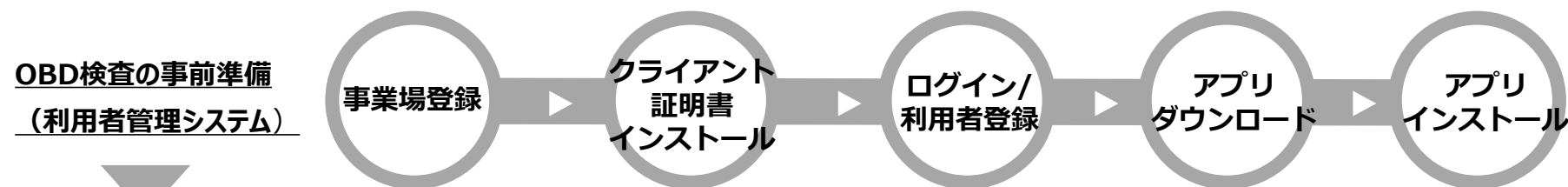


### 3. 特定DTC照会アプリの機能概要

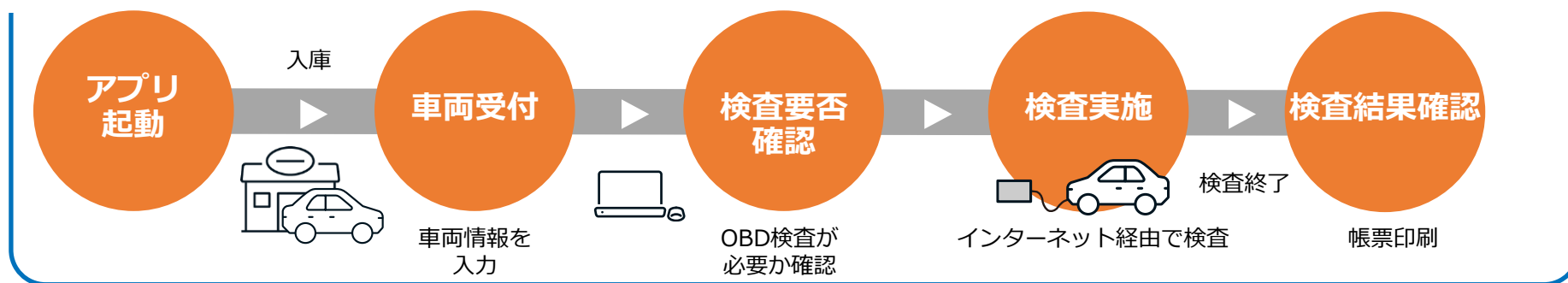
Point

車両情報入力、OBD検査の要否確認、OBD検査、OBD検査結果確認の流れで業務を実施

特定DTC照会アプリ（以降、「アプリ」と記載）は、車両がOBD検査の対象か確認を行い、車両やOBD検査用サーバーと通信してOBD検査の合否を判定するためのアプリケーションです。  
利用者管理システムでOBD検査の事前準備を行った後、アプリでOBD検査を行います。



#### OBD検査 (特定DTC照会アプリ)



**(OBD検査結果参照システム)**

**(利用者管理システム)**

**OBD検査結果の確認**

検査結果確認

**OBD検査対象の確認**

検査対象確認

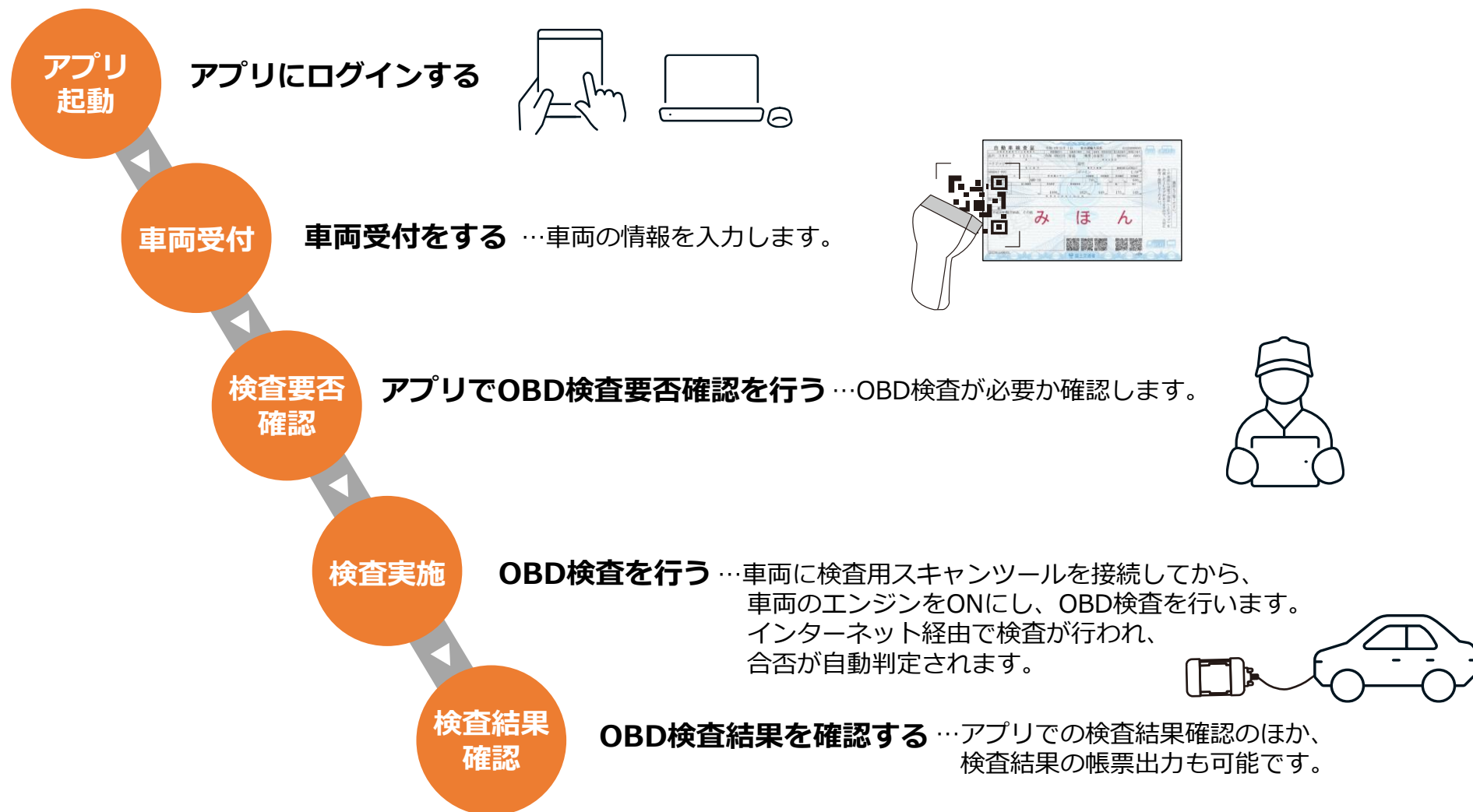
**OBD検査の件数やその増減を確認**

検査実績確認

※OBD検査結果をアプリとOBD検査結果参照システムで確認できます。

## 4. アプリ操作フロー

アプリを使用した業務フローは以下のとおりです。



## 5. アプリ利用にあたって必要なもの

Point

事前にOBD検査を実施する事業場と利用者の登録、インターネット環境や機器の準備が必要

### 環境・機器の準備

通信環境および検査で使用する検査用スキャンツールなどの機器を準備する必要があります。  
検査用スキャンツールには、クライアント証明書とアプリをインストールする必要があります。

#### インターネット環境



通信障害が発生した場合の対応は、OBD検査ポータルのお知らせ画面等を通じてお知らせします。



VCI

#### 検査用スキャンツール

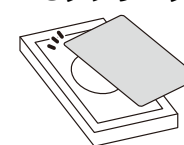


Windows10以上（HomeまたはPro、リビジョン2004以上）のPCまたはタブレット

#### 二次元コードリーダ



#### ICタグリーダ

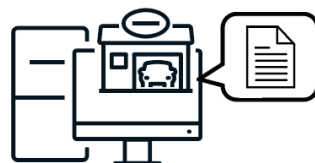


車検証読み取り用  
手入力も可能なため、必要に応じて準備

### OBD検査の準備（利用者管理システム）

OBD検査システムを利用してOBD検査を実施するには、利用者管理システムでOBD検査を実施する事業場および工員または検査員の登録をする必要があります。

#### OBD検査を実施する事業場の登録



#### 工員または検査員の登録



- ※ 検査用スキャンツールは、OBD検査に対応した機器を使用する必要があります。  
対象機器の詳細については、日本自動車機械工具協会のホームページを参照のうえ各自ご準備ください。
- ※ 二次元コードリーダおよびICタグリーダの関連情報については、OBD検査ポータルサイトにて詳細をご確認ください。
- ※ OBD検査システムで使用する端末の詳細な動作環境については、特定DTC照会アプリ操作マニュアルの「1.2 アプリの動作環境」をご確認ください。

これ以降、アプリで行う以下の作業について説明します。

- **基本的な操作**

アプリにログインします。

6. ログインとログアウト

- **OBD検査の実施**

OBD検査を開始します。項目番号順に作業を行います。

7. 車両の受付をする

8. アプリでOBD検査要否確認を行う

9. データリンクコネクタの位置を確認する

10. <車検証読み取り、車両受付と要否確認、コネクタ位置確認の講師デモ>

11. OBD検査を行う

- **OBD検査結果の確認**

OBD検査を実施した後、OBD検査結果を確認します。

13. OBD検査結果を確認する

- **OBD検査開始前の設定確認**

OBD検査に使用する検査用スキャンツールや二次元コードリーダーなどの設定を確認します。

15. 設定を確認する

- **参考情報の確認**

必要に応じて、過去に実施したOBD検査の履歴や、車両についての参考情報を確認します。

16. 関連情報を確認する

## 利用規約を確認後、「利用規約に同意する」に チェックを付け、「利用開始」を押す

本システムの利用規約を確認してください。  
内容を確認後、「利用規約に同意する」にチェックし、利用開始ボタンを押下してください。

\*\*\*\*\* 「利用規約」 \*\*\*\*\*

審査用技術情報登録システムをご利用する方は、下記の利用規約全ての事項に承諾をいただくことが必要となります。

利用規約

(目的)  
第1条  
この規約は、審査用技術情報登録システムの利用に関し、必要な事項を定めることを目的とします。

(定義)  
第2条  
この規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによります。  
(1) 「本システム」 「審査用技術情報登録システム」 (<https://www.epti-regpr.naltec.go.jp>) をいいます。  
(2) 「システム提供者」 独立行政法人自動車技術総合機構（以下「機構」という。）をいいます。

利用規約に同意する

閉じる 利用開始

## パスワードを入力し、「変更」を押す

現在のパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワード (確認):

※パスワード設定ポリシー

- 利用できる文字は半角英字、半角数字、半角記号(「-」、「\_」、「.」、「@」)で、これら3種類が含まれていること
- 8文字以上20文字以下であること
- ユーザーIDと同じではないこと

戻る 変更

- ① 「現在のパスワード」に初期パスワードを入力します。
- ② 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。
- ③ 「新しいパスワード (確認)」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 以下の3種類を、それぞれ1文字以上使用すること  
半角英字：A～Z、a～z  
半角数字：0～9  
半角記号：「-」「\_」「.」「@」  
例) Abc@92\_i
- 8文字以上20文字以下で、ユーザーIDと異なる文字列であること
- 初期パスワードと異なる文字列であること

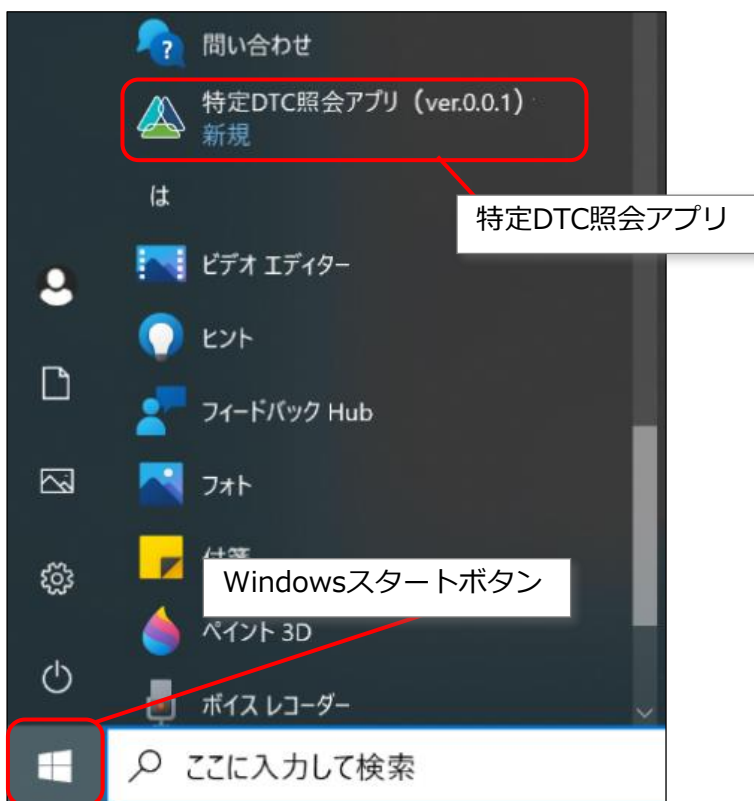


## 6. ログインとログアウト

### アプリにログインする（初回）

#### アプリを起動する

Windowsスタートボタンを押し、表示されるアプリの中から「特定DTC照会アプリ」を選択します。



#### Point

ユーザーIDおよびパスワードはOBD検査結果参照システムと共通

管理責任者または統括管理責任者から通知された「ユーザーID」、「パスワード」（初期パスワード）を入力し、「ログイン」を押す



ユーザーIDとパスワードの取り扱いについて、以下のことに注意してください。

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。
- ユーザーID、パスワードを忘れた場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。

## 「メニューへ戻る」を押す



《メニュー》画面が表示されます。

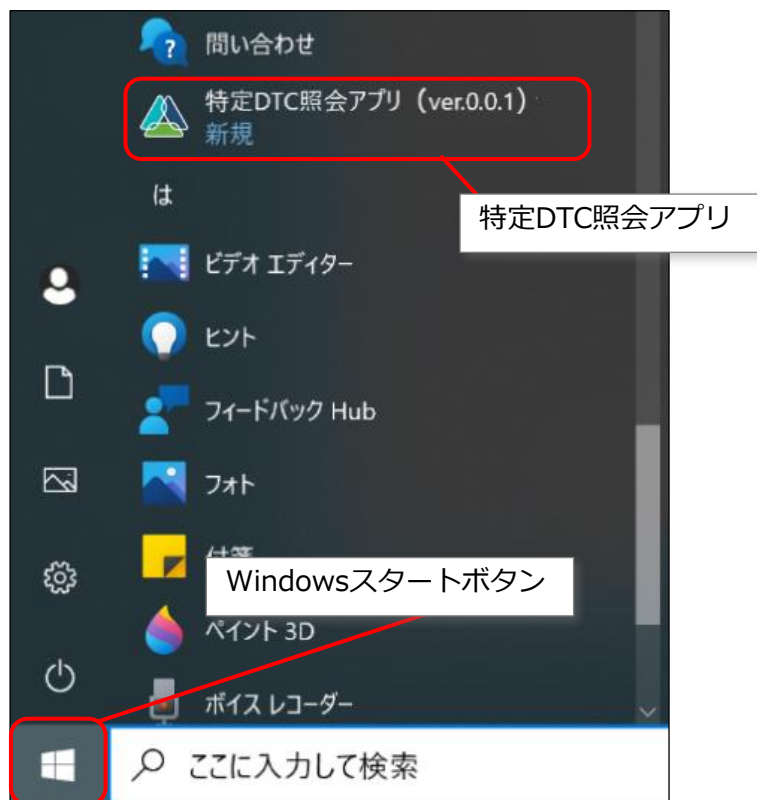


次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

## アプリにログインする（2回目以降）

### アプリを起動する

Windowsスタートボタンを押し、表示されるアプリの中から「特定DTC照会アプリ」を選択します。



アプリの起動時にはバージョンチェックが行われます。アプリが更新された際には、画面の表示に従ってアップデートを行ってください。アップデート時に、「いいえ」（アップデートしない）を選択すると、アプリは起動できません。

### 「ユーザーID」、「パスワード」を入力し、「ログイン」を押す

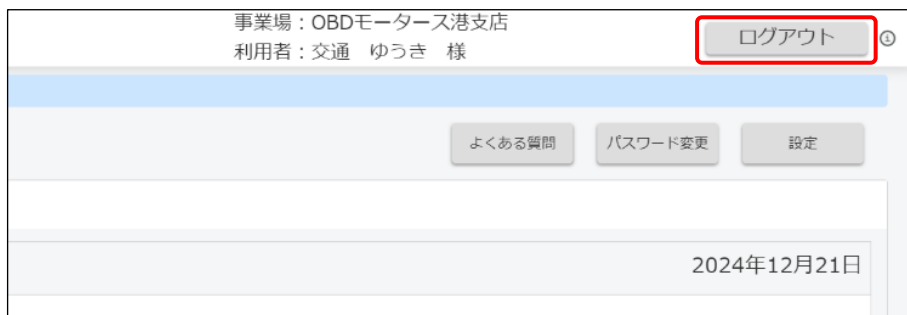


《メニュー》画面が表示されます。

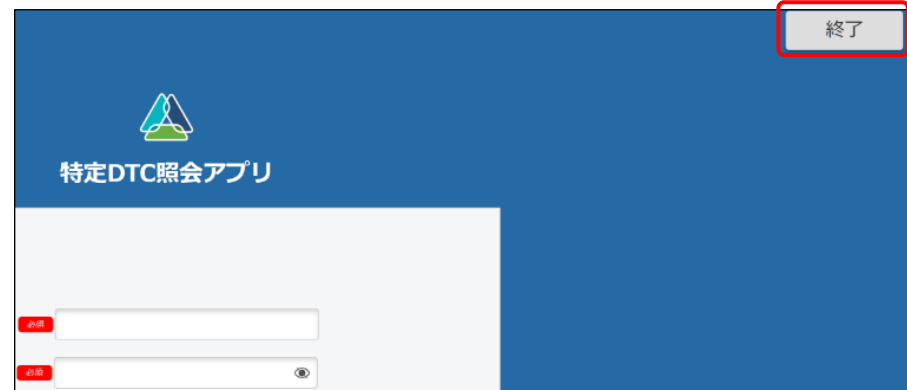


## アプリからログアウトして終了する

各画面の右上にある「ログアウト」を押す



ログイン画面の右上にある「終了」を押す



特定DTC照会アプリの画面が消え、デスクトップが表示されます。

ログインしたまま30分間操作されない状態が続くと、セッションタイムアウトし、自動的にログアウトします。  
セッションタイムアウトした場合は、再度ログインをする必要があります。

## 7. 車両の受付をする

Point

車両情報をアプリに入力

この手順から実際のOBD検査が始まります。車両受付とは、車両の情報をアプリに入力することです。アプリでは、最初にモードを、続いて検査用スキャンツールを選択して、車両受付を行います。

### モード・検査用スキャンツールを選択する

目的に応じて、利用するモードを選択します。次に、車両と接続する検査用スキャンツールを選択します。

#### モードを選択する



表示されるモードは利用者に応じて異なります。

「OBD検査」と「OBD確認」の操作手順に大きな違いはありません。どちらのモードを選択しても、検査または確認の実施履歴としてシステムに記録されます。

モード	利用者	用途
OBD検査	指定工場の検査員	法令に準拠してOBD検査を実施する際に使用します。
OBD確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	点検・整備時に、OBD検査と同等の確認を行う際に使用します。 以下のようなケースでもOBD確認を行えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• アプリを使用したOBD検査の習熟のため、OBD確認を行うとき</li><li>• OBD検査対象車両でOBD検査に必要な情報が未登録の場合や、OBD検査対象外車両でもJ-OBD II 適用車両の場合、規格データに基づいて排ガスOBDの点検のみを行うとき</li></ul>

## 検査用スキャンツールを選択する

OBID検査モード

事業場：OBIDモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

検査用スキャンツール 必須 vci - 1

車検証  
二次元コード読取

電子車検証  
ICタグ読取

車両情報  
手入力

車台番号 型式  
- -

リコール情報参照

類別区分番号 燃料の種類  
- -

諸元表参照

入力内容クリア

検査可否確認

結果 車名 データリンクコネクタの位置表示  
- -

位置詳細表示

前回判定結果 前回判定時刻  
- -

OBID実施履歴参照

実行

検査結果/確認結果  
-

結果詳細表示


中止

判定時刻  
-

結果詳細CSV出力

帳票PDF出力

次の車両

インストールされている検査用スキャンツールのドライバが1つの場合は、自動的に検査用スキャンツールが選択されます。インストール検査用スキャンツールのドライバが2つ以上ある場合は、プルダウンリスト 必須 XXX-XXX  を押して、使用する検査用スキャンツールを選択してください。

選択したものと異なる検査用スキャンツールを車両に接続し検査を行った場合、正常に作動しない可能性があります。検査用スキャンツールのドライバ名を確認のうえ、正しいスキャンツールを選択し、再度検査を実施してください。

## 車両情報を入力する

《OBD検査モード》画面で、検査を受ける車両の情報を入力します。車検証または電子車検証に対応する読み取り機器（リーダ）の有無によって、以下の3つの方法があります。

- 二次元コードリーダを使用して、車検証の二次元コードを読み取る
- ICタグリーダを使用して、電子車検証のICタグを読み取る
- 読み取り機器を使用せず、車両情報を手入力する

車検証の情報と異なる車両で、誤ってOBD検査を実施した場合は、再度車両の受付からやり直し、正しい車両情報を入力のうえ、もう一度OBD検査を実施してください。

## 車検証の二次元コードを読み取る場合

### 入力方法を選ぶ

OBID検査モード 事業場  
利用者

検査用スキャンツール vci - 1

**車検証  
二次元コード読取**    電子車検証  
ICタグ読取    車両情報  
手入力

車台番号  
-  
類別区分番号  
燃料の  
入力内容クリア

検査要否確認

結果    車名    データ  
-    -  
前回判定結果    前回判定時刻    OBID実施履歴参照

「車検証二次元コード読取」を押します。

### 読取モードを選ぶ

車検証二次元コード読取 事業場  
利用者

車検証二次元コードを読み取ってください。

読取モードを選択してください。  
読取モード1

二次元コード2、二次元コード3を読み込みしてください。

読み込み済みの二次元コード：

- 読取モード1：二次元コード2、3（QR2、QR3）を連続で読み取り、自動で画面を閉じて読み取り内容を登録します。
- 読取モード2：リーダで読み取った内容を入力欄に反映し、「確定」を押すことで入力内容を登録します。

リーダによって選択する読取りモードが異なります。  
本研修では、「読取モード1」を選択する場合の操作方法を説明します。  
「読取モード2」を選択する場合は、マニュアルを参照してください。



# 二次元コードを読み取る



車検証に記載された「二次元コード2」(QR2)、「二次元コード3」(QR3)の順に読み取ります。



車検証の二次元コード2 (QR2) 、二次元コード3 (QR3) の位置を確認できます。

①② (QR2) 、  
③④⑤ (QR3) の順に、  
右から二次元コードを  
読み取ります。

使用する機器によって使用方法や動作が異なります。  
詳細は、OBD検査ポータル以下のページより「■QRコードリーダ」をご確認ください。  
《OBD検査ポータル》  
整備事業者の方 / OBD検査で使用する機器 / その他の機器 (任意)  
<https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/device/#other-device>

## 読み取り後


読み取った車両情報が登録されると《OBD検査モード》画面に戻ります。以下のように、入力した情報が反映されます。


OBD検査モード


事業場：OBDモータース港支店  
 利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

検査用スキャンツール
vci - 1

  
 車検証  
二次元コード読取


  
 電子車検証  
ICタグ読取

  
 車両情報  
手入力

車台番号 ZZZ-1234567	型式 3BA-ZZZ01
類別区分番号 0001	燃料の種類 ガソリン

入力内容クリア


リコール情報参照  
  
諸元表参照

  
 検査要否確認

結果	車名	データリンクコネクタの位置表示
-	-	

前回判定結果
前回判定時刻
OBD実施履歴参照

位置詳細表示

  
 実行

検査結果/確認結果	結果詳細表示
判定時刻	結果詳細CSV出力

帳票PDF出力
中止

次の車両

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

17

## 電子車検証のICタグを読み取る場合

### 入力方法を選ぶ

「電子車検証ICタグ読取」を押します。

OB検査モード

事業場  
利用者

検査用スキャンツール vci - 1

車台番号  
-

類別区分番号 燃料

入力内容クリア

車検証 二次元コード読取

電子車検証 ICタグ読取

車両情報 手入力

結果 車名 データ

検査要否確認

前回判定結果 前回判定時刻

OB実施履歴参照

### セキュリティコードを入力する

電子車検証の右下に記載されている4桁の数字を入力します。

電子車検証読取

画面に従って電子車検証を読み取ってください。

①セキュリティコードの入力  
セキュリティコードを半角数字で入力してください。  
セキュリティコードは車検証表面の右下にある4桁の数字です。

1234

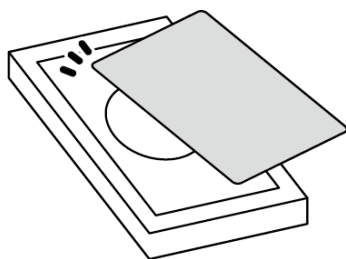
②電子車検証の読み取り  
読取機器に電子車検証を置いてください。

③読取開始ボタンをクリック  
読取開始ボタンをクリックしてください。  
※金属製のものが近くにある場合、うまく読み取れないことがあります。  
※端末によってカードを認証するまでに3～5秒間かかることがあります。

読取開始

戻る

## 電子車検証をICタグリーダーにかざし、「読取開始」を押す



### 電子車検証読取

画面に従って電子車検証を読み取ってください。

- ①セキュリティコードの入力**  
セキュリティコードを半角数字で入力してください。  
セキュリティコードは車検証表面の右下にある4桁の数字です。
- ②電子車検証の読み取り**  
読取機器に電子車検証を置いてください。
- ③読取開始ボタンをクリック**  
読取開始ボタンをクリックしてください。  
※金属製のものが近くにある場合、うまく読み取れないことがあります。  
※端末によってカードを認証するまでに3～5秒間かかることがあります。

**読取開始**

戻る

## 読み取り後

読み取った車両情報が入力されると《OBD検査モード》画面に戻ります。  
以下のように、入力した情報が反映されます。

事業場：OBDモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

車台番号 ZZZ-1234567 型式 3BA-ZZZ01

リコール情報参照

類別区分番号 0001 燃料の種類 ガソリン

諸元表参照

入力内容クリア

データリンクコネクタの位置表示 位置詳細表示

OBD実施履歴参照

## 車検証または電子車検証の情報をキーボードなどにより入力する場合

## 入力方法を選ぶ

事業場  
利用者

検査用スキャンツール 必須 vci - 1

車検証  
二次元コード読取

電子車検証  
ICタグ読取

車両情報  
手入力

車台番号

類別区分番号

燃料の種類

入力内容クリア

結果

車名

データ

検査要否確認

前回判定結果

前回判定時刻

OBD実施履歴参照

「車両情報手入力」を押します。二次元コードリーダーやICタグリーダーがない場合はこちらを選択してください。

## 車両情報を入力し、「確定」を押す

車両情報手入力

車検証を確認のうえ、受検車両の情報を入力してください。

車台番号<sup>①</sup> 必須 職権打刻 初度登録年月または初度検査年月<sup>②</sup> 必須  
   なし  あり 令和  年  月

型式<sup>③</sup> 必須 改造車等<sup>④</sup> 類別区分番号<sup>⑤</sup> 必須  
   なし  あり

燃料の種類<sup>⑥</sup> 必須  
選択してください

閉じる

確定

車検証または電子車検証の以下の記載内容を、入力または選択します。

- 車台番号
- 型式
- 燃料の種類
- 初度登録年月または初度検査年月
- 類別区分番号

# 入力後

車両情報が入力されると《OBD検査モード》画面に戻ります。以下のように、入力した情報が反映されます。

**OBD検査モード**
事業場：OBDモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様
メニューへ
ログアウト

検査用スキャンツール

vci - 1

車検証  
二次元コード読取

電子車検証  
ICタグ読取

車両情報  
手入力

車台番号

型式

類別区分番号

燃料の種類

リコール情報参照  
  
諸元表参照

入力内容クリア

検査要否確認

結果

車名

データリンクコネクタの位置表示

前回判定結果

前回判定時刻

OBD実施履歴参照

位置詳細表示

実行

検査結果/確認結果

判定時刻

結果詳細表示

結果詳細CSV出力

帳票PDF出力

中止  
  
次の車両

## 8. アプリでOBD検査要否確認を行う

Point

OBD検査が必要かどうかを自動確認

車両受付が完了したのち、OBD検査が必要かどうかをアプリで確認します。

※車両と検査用スキャンツールを接続する前に、アプリでこの作業を行ってください。

車両受付が完了した後、「検査要否確認」を押す

The screenshot shows the 'OBD検査モード' (OBD Inspection Mode) interface. At the top, it displays the business location as 'OBDモータース港支店' and the user as '交通 ゆうき 様'. A dropdown menu for the inspection tool is set to 'vci - 1'. The main area contains three large blue buttons: '車検証 二次元コード読取', '電子車検証 ICタグ読取', and '車両情報 手入力'. To the right, there are input fields for '車台番号' (ZZZ-1234567), '型式' (3BA-ZZZ01), '類別区分番号' (0001), and '燃料の種類' (ガソリン). Below these are buttons for 'リコール情報参照', '諸元表参照', and '入力内容クリア'. At the bottom, there is a section for '結果' and '車名' with input fields, and a 'データリンクコネクタの位置表示' button. A '検査要否確認' button, featuring a car icon with a magnifying glass, is highlighted with a red box. Below it are fields for '前回判定結果' and '前回判定時刻', along with an 'OBD実施履歴参照' button.

OBD検査の要否確認が開始されます。

以下の画面が表示された場合は、画面に従って車両の情報を入力してください。

- 《車名選択》画面：対象の車両を特定できない場合に表示されます。
- 《車両ID入力》画面：対象の車両IDを特定できない場合に表示されます。
- 《その他燃料選択》画面：その他燃料の情報追加が必要な場合に表示されます。

## 結果を確認する

「結果」欄には、以下のいずれかが表示されます。

結果	説明
<b>OBD検査要</b>	OBD検査を実施する必要があります。
<b>OBD検査不要</b>	OBD検査を実施する必要がなく、OBD検査はできません。
<b>OBD検査不可</b>	OBD検査に必要な車両情報が存在しない場合に表示されます。OBD検査コールセンターにお問い合わせください。

### 「OBD検査要」の表示がある場合

OBD検査を行います。

### 「OBD検査不要」の表示がある場合

これ以上の操作は必要なく、OBD検査は終了です。ただし、以下の場合は実施できます。

- OBD検査要否確認結果の帳票（PDFファイル）やCSVファイルのダウンロード
- 関連情報や過去のOBD検査実施履歴情報の閲覧

なお、OBD確認モードの場合は、そのままOBD確認に進める場合があります。

### 「OBD検査不可」の表示がある場合

OBD検査モードの場合は、これ以上の操作はできません。OBD検査対象車であって、車検証記載されているか、または電子車検証ICタグ情報に格納されているOBD検査開始年月日が到来している場合は、OBD検査コールセンターにお問い合わせください。

OBD確認モードの場合は、そのままOBD確認に進める場合があります。ただし、画面の上部にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。

OBD検査を終了しても、以下の操作は実施できます。

- 関連情報や過去のOBD検査実施履歴情報の閲覧



## 9. データリンクコネクタの位置を確認する

Point

検査用スキャンツールを接続する車両のコネクタを確認

車両のデータリンクコネクタの位置を確認します。

データリンクコネクタは、検査用スキャンツールを接続するためのコネクタです。

「データリンクコネクタの位置表示」を確認する

車台番号 1234 型式 1234 リコール情報参照

類別区分番号 1234 燃料の種類 ガソリン 諸元表参照

入力内容クリア

ナルテック データリンクコネクタの位置表示 位置詳細表示

35 OB D実施履歴参照

データリンクコネクタの位置が、赤色のマーカーで表示されます。

データリンクコネクタの位置のイラストを確認します。

「位置詳細表示」を押す

車台番号 1234 型式 1234 リコール情報参照

類別区分番号 1234 燃料の種類 ガソリン 諸元表参照

入力内容クリア

ナルテック データリンクコネクタの位置表示 位置詳細表示

35 OB D実施履歴参照

データリンクコネクタの詳細な位置情報を確認できます。

# 詳細を確認する

接続端子を挿入する角度・向きなどを確認できます。

データリンクコネクタ位置表示

詳細内容を確認してください。画像をクリックすると拡大表示されます。

左ハンドル 右ハンドル

ハンドル画像

角度・向き  
(カバー有り)

参考画像

説明  
補足文 左 (G4WAP011) xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx  
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

閉じる

< 1 2 3 4 5 >

左右ハンドルの情報がある場合、タブを押して切り替えられます。

データリンクコネクタの角度・向きがイラストで表示され、カバーの有無が表示されます。

データリンクコネクタの参考画像と説明文が表示されます。

⊕を押すと、画像やイラストが拡大表示されます。

この画面を閉じます。

情報が複数ページある場合、<>を押して、ページを切り替えます。

データリンクコネクタの位置が、赤色のマーカーで表示されます。

## 10. 【車検証読取り、車両受付と要否確認、コネクタ位置確認の講師デモ】

前のスライドでご紹介した、アプリへのログイン、車検証読取り、OBD検査の要否確認、データリンクコネクタ位置の確認の操作について、アプリの操作をご覧ください。

デモ動画 ▶ [アプリにログインする \(初回\)](#)

デモ動画 ▶ [車両の受付をする](#)

デモ動画 ▶ [OBD検査要否確認をする/コネクタの位置の確認をする](#)

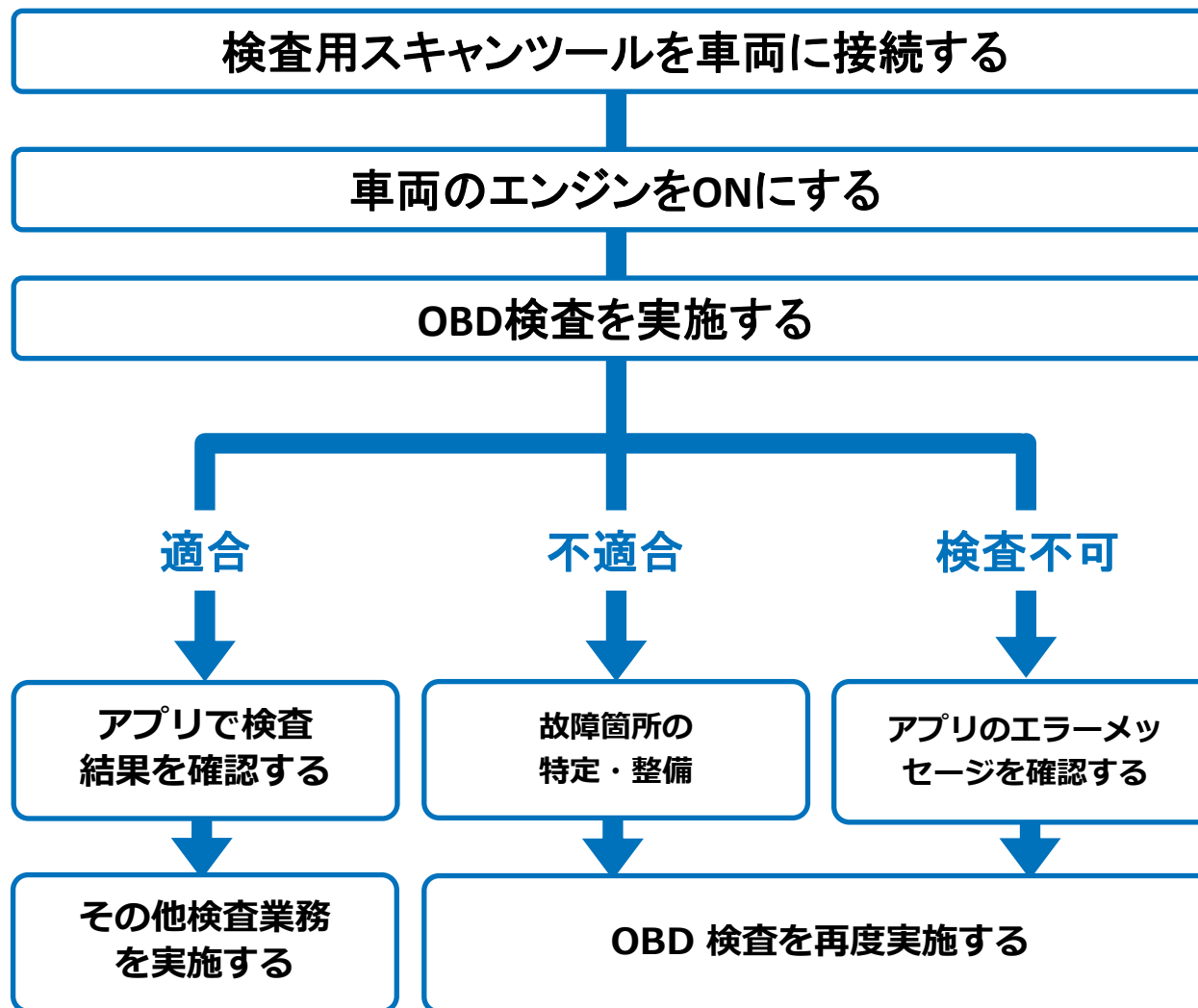
※デモ動画は外部サイトへ移動します。

# 11. OBD検査を行う

Point

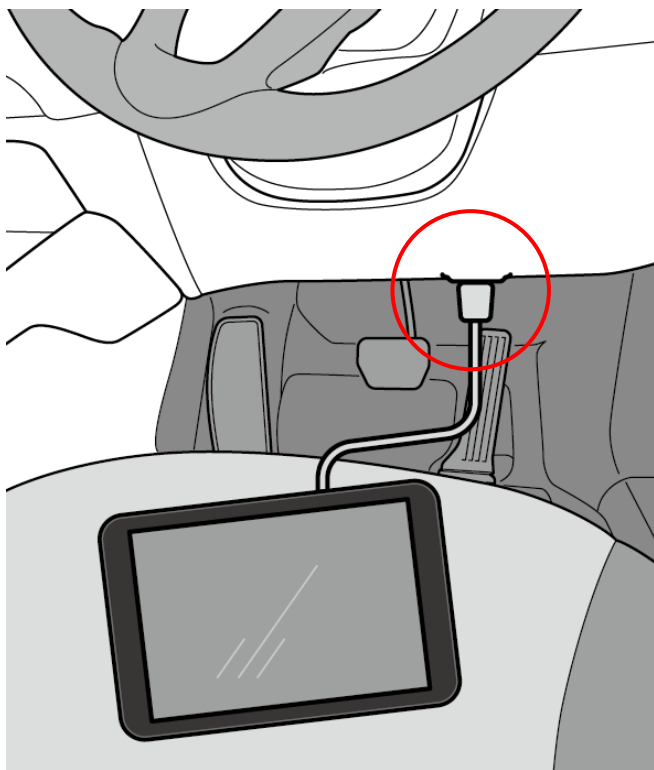
OBD検査を実施し、OBD検査用サーバーが検査結果を自動判定

OBD検査は以下の流れで実施します。



検査用スキャンツールを接続する前に、車両の電源がOFFであることを確認してください。

車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャン  
ツールの接続端子を接続する



車両のエンジンをONにする

ハイブリッド車等はREADYにします。

キーOFFやイグニッションONの状態で行ったOBD検査を実施した場合は、検査結果にかかわらず、エンジンをONにした状態で再度「実行」ボタンを押下してください。

## 《OBD検査モード》画面で、「実行」を押す

車検証  
二次元コード読取

電子車検証  
ICタグ読取

車両情報  
手入力

車台番号  
ZZZ-1234567

類別区分番号  
0001

燃料の種類

入力内容クリア

結果  
OBD検査要

車名  
ナルテック

データリ

検査要否確認

前回判定結果  
適合

前回判定時刻  
2024/11/01 10:35

OBD実施履歴参照

検査結果/確認結果

判定時刻

結果詳細表示

結果詳細CSV

帳票PDF出力

「処理を実施しています。このままお待ちください。」というメッセージが表示されます。

事業場  
利用者

OBD検査モード

処理を実施しています。このままお待ちください。

検査用スキャンツール vci-1

ECUと通信中

車台番号  
1234

類別区分番号

検査が完了すると、検査結果が表示されます。

# 検査結果を確認する

表示されたメッセージと検査結果（適合／不適合）を確認します。



メッセージに従って、操作を行ってください。

検査結果	説明	表示されるメッセージ
適合	OBD検査に適合です。	処理を終了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください。
不適合	OBD検査に不適合です。検査結果を確認したうえで点検・整備を行ってください。	<b>メモ</b> 検査用スキャンツールを取り外すときは、イグニッションがOFFになっていることを確認してください。
空欄 (検査不可)	エラーにより、OBD検査ができません。表示されるメッセージでエラー内容を確認してください。	メッセージの例： 受検車両との通信でエラーが発生しました。検査用スキャンツールの接続を確認のうえ、再度、「実行」を押ししてください。

現在故障のみを特定DTCとして検出するため、過去の故障履歴があってもOBD検査結果に影響を与えることはありません。

## 《排ガスOBD 警告灯判定》画面が表示された場合

改造により排ガス規制の適用が変わった場合、《排ガスOBD警告灯判定》画面が別ウィンドウで表示されることがあります。運転者席の警告表示を目視により確認し、画面の表示に従って合否判定を行ってください。

### 排ガスOBD警告灯判定

運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

運転者席に下記の警告が表示されている場合「×：不適合」を選択してください。

**必須** 選択してください ▾

確認対象

排ガス等発散防止装置



閉じる

判定

## 《安全OBD 警告灯判定》画面が表示された場合

安全系のOBD検査対象装置との通信ができなかった場合、《安全OBD警告灯判定》画面が別ウィンドウで表示されることがあります。運転者席の警告表示を目視により確認し、画面の表示に従って合否判定を行ってください。

### 安全OBD警告灯判定

運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

運転者席に下記の警告が表示されている場合「×：不適合」を選択してください。

**必須** 選択してください ▾

確認対象

アンチロックブレーキ (ABS)	<input type="checkbox"/>	運転者支援ステアリング (レーンキープシステム等)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
横滑り防止装置 (ESC)	<input type="checkbox"/>	車面接近通報装置	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
ブレーキアシスト (BAS)	<input type="checkbox"/>	自動運行装置	
自動ブレーキ (AEBS)	<input type="checkbox"/>		

※マーク表示：XXX故障 動作中で点検してください

※マーク表示：車両接近通報装置故障

再実施

判定



## 12. 【OBD検査実施の実車デモ】

実車エリアに移動して、前のスライドでご紹介した、アプリで行う以下のOBD検査業務を実際にご覧いただきます。

- 車両への検査用スキャンツール接続
- OBD検査の実施
- OBD検査結果の確認（適合）
- 車両より検査用スキャンツール抜き取り

デモ動画 ▶ [OBD検査を行う](#)

※デモ動画は外部サイトへ移動します。

## 13. OBD検査結果を確認する

Point

OBD検査結果が「適合」または「不適合」の検査結果の詳細を確認し、ファイルに出力

OBD検査結果が「適合」または「不適合」になった場合、検査結果の詳細を確認して、帳票やCSVファイルに出力できます。

※OBD検査結果には個人情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

### OBD検査結果の詳細を表示する

OBD検査が終了した後、「結果詳細表示」を押す

内容を確認する

OBDD検査モード

事業場：OBDDモ  
利用者：交通

処理を終了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください。

検査用スキャンツール vci - 1

車台番号 ZZZ-1234567

類別区分番号 0001 燃料の種類

入力内容クリア

車検証 二次元コード読取

電子車検証 ICタグ読取

車両情報 手入力

結果 OBDD検査要 車名 ナルテック

データリンクコ

検査要否確認

前回判定結果 適合 前回判定時刻 2024/11/01 10:35 OBD実施履歴参照

検査結果/確認結果 適合

判定時刻

結果詳細表示

結果詳細CSV出力

OBDD検査結果詳細

事業場：OBDDモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

詳細内容を確認してください。

検査/確認 検査 車台番号 ZZZ-1234567 型式 3BA-27701 類別区分番号 0001 燃料の種類

不適合

排ガス (J-OBDD II) 特定DTC 1000件 6件まで表示：全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから 全ての特定DTCを見る

区分	ECU名称等	コード	名称
排ガス	ecu001	XXX01	0 0 0 1
排ガス	ecu002	XXX02	0 0 0 2
安全	ABSECU	C234567	ABS異常
安全	AVASECU	C456789	スピーカー断線
安全	ADASECU	C567890	エーミング未完了
安全	ADASECU	C678901	カメラモジュール異常

安全

通信 成立

特定DTC 不適合

レディネスコード 4種中2種完了

触媒 エンジン失火検知システム 酸素又は空燃比センサ 排ガス再循環システム

燃料供給システム 排気二次空気システム

戻る

結果詳細CSV出力 帳票PDF出力

※不適合時の例

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に“※警告灯判定結果”と表示されます。

OBID検査結果詳細画面に表示しきれなかった特定DTCを確認する場合は、「全ての特定DTCを見る」を押す

事業場：OBIDモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

類別区分番号 燃料の種類  
A-ZZZ01 0001 ガソリン

**不 適 合**

6件まで表示：全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから **全ての特定DTCを見る**

ECU名称等	コード	名称
BAECU	C123456	ブレーキブースター異常
ABSECU	C234567	ABS異常
ESCECU	C345678	ESC通信異常
AVASECU	C456789	スピーカー断線
ADASECU	C567890	エーミング未完了
ADASECU	C678901	カメラモジュール異常

すべての特定DTCを一覧で確認できます。

一覧を確認する

項番	区分	ECU名称等	コード	名称
1	排ガス	ecu001	XXX01	0 0 0 0 1
2	排ガス	ecu002	XXX02	0 0 0 0 2
3	安全	ABSECU	C234567	ABS異常
4	安全	AVASECU	C456789	スピーカー断線
5	安全	ADASECU	C567890	エーミング未完了
6	安全	ADASECU	C678901	カメラモジュール異常
7	安全	ADASECU	C789012	レーダーセンサ異常
8	安全	ADASECU	U890123	運転支援装置通信異常
9	安全	ADASECU	C901234	スピードセンサ通信異常
10	安全	ADASECU	C012345	ヨーレートセンサ通信異常
11	安全	BAECU	C123456	ブレーキブースター異常
12	安全	ecu001	XXX01	0 0 0 0 1
13	安全	ecu002	XXX02	0 0 0 0 2
14	安全	ecu003	XXX03	0 0 0 0 3
15	安全	ecu004	XXX04	0 0 0 0 4
16	安全	ecu005	XXX05	0 0 0 0 5
17	安全	ecu006	XXX06	0 0 0 0 6
18	安全	ecu007	XXX07	0 0 0 0 7
19	安全	ecu008	XXX08	0 0 0 0 8
20	安全	ecu009	XXX09	0 0 0 0 9

1 2 3 4 5

確認が終了したら、「戻る」を押して、「OBID検査結果詳細」画面に戻ります。

## OBD検査結果を保存する

OBD検査の結果をPDF形式またはCSV形式でダウンロードして保存することができます。

- PDF形式で保存したファイルは、結果帳票として印刷して自動車使用者の方に渡す場合などに使用できます。
- CSV形式で保存したファイルは、外部システムに取り込むときなどに使用できます。詳細については、外部システムの問い合わせ先にご連絡ください。

OBD検査結果を出力する際は、以下のことに注意してください。

- OBD検査結果には個人情報が含まれる場合があるため、OBD検査業務関係者以外の方に共有しないよう、取り扱いには注意してください。
- 目的外での情報の利用は禁止されています。



帳票（PDF）のサンプルは以下です。

**自動車使用者の方へ  
OBD検査結果のお知らせ**

■受検車両・受検場所の情報

受 検 日	車 台 番 号	型 式	登 録 番 号 / 車 両 番 号
2024年(令和6年)12月03日	ZZZ-1234567	3BA-ZZZ01	1001/0300
事 業 場 の 名 称			指 定 番 号 / 認 証 番 号
OBDモータース港支店			AB-0123

※登録番号/車両番号は下4桁のみが印字です。

自動車検査におけるOBD検査結果をお知らせする旨のメッセージを表示

■OBD検査情報

検査結果	不適合
------	-----

■OBD検査結果詳細

排出ガス関係装置			安全関係装置		
項目	検査結果		項目	検査結果	
電圧	○	12.1V	通信	○	成立
MIL	○	OFF	特定DTC	x	不適合
レディネス	○	適合			
通信	○	成立			
特定DTC	○	適合			

■特定DTC 全7件中7件表示

項番	区分	ECU名称等	コード	名称
1	安全	ANZEN-2	B0001	安全DTC名 B0001
2	安全	ANZEN-2	B0002	安全DTC名 B0002
3	安全	ANZEN-2	B0003	安全DTC名 B0003
4	安全	ANZEN-2	B0004	安全DTC名 B0004
5	安全	ANZEN-2	B0005	安全DTC名 B0005
6	安全	ANZEN-2	B0006	安全DTC名 B0006
7	安全	ANZEN-2	B0007	安全DTC名 B0007

(以降省略)

本帳票の記載内容について詳細は以下のホームページをご参照ください。  
「OBD検査システムポータルサイト OBD検査結果帳票について」 <https://test.sample.com/test/test2/test3/test4>

No.	項目	説明
①	受検車両・受検場所の情報	受検日や受検車両、受検場所などの、受検時の情報が出力されます。
②	メッセージ	自動車検査に関するメッセージが出力されます。
③	OBD 検査情報	OBD 検査または確認の結果が出力されます。 適合の場合：適合 不適合の場合：不適合 OBD 検査不要で終了した場合：OBD 検査対象外
④	OBD 検査結果詳細	OBD 検査または確認結果の詳細が出力されます。

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に“※警告灯判定結果”と表示されます。

## CSV出力する

《OBD検査モード》画面で「結果詳細CSV出力」を押す

OBDM検査モード

処理を終了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください。

検査用スキャンツール vci - 1

車台番号 ZZZ-1234567

類別区分番号 0001

燃料の種類

入力内容クリア

検査要確認

結果 OBD検査要

車名 ナルテック

データリンクコネ

前回判定結果 適合

前回判定時刻 2024/11/01 10:35

OBD実施履歴参照

検査結果/確認結果 適合

判定時刻 2024/11/11 10:35

結果詳細表示

**結果詳細CSV出力**

帳票PDF出力

実行

保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRRESULT\_yyyymmddhhmmss\_[事業場ID]\_[車台番号].csv」というファイル名で、OBD検査結果のCSVファイルが保存されます。

## 14. 【OBD検査結果確認講師デモ】

前のスライドでご紹介した、OBD検査結果の詳細表示、車検証読取り、OBD検査結果をPDFやCSVに保存する操作について、アプリの操作をご覧ください。

デモ動画 ▶ [OBD検査結果の詳細を表示する](#)

デモ動画 ▶ [OBD検査結果を保存する](#)

※デモ動画は外部サイトへ移動します。



## 15. 設定を確認する

**Point**

検査用スキャンツールや二次元コードリーダーなどの設定を確認

OBD検査（確認）に使用する検査用スキャンツールや二次元コードリーダーなどの設定を確認します。必要に応じて、設定を入力・変更します。

ここで検査用スキャンツールやモードを設定しておくことで、操作の際の設定や入力を省くことができます。また、設定した内容は操作時に変更することもできます。

《メニュー》画面で「設定」を押す

事業場：OBDモーターズ港支店  
利用者：交通 ゆうき 様

ログアウト

よくある質問 パスワード変更 **設定**

2024年12月21日

現在の設定を確認する

検査用スキャンツール

現在の設定 vci - 1  
機器を選択 vci - 1

車検証二次元コード読取モード

読取モード2

車検証二次元コードリーダー

現在の設定 通信ポート (COM1)  
機器を選択 通信ポート (COM1)

電子車検証ICタグリーダー

現在の設定 ICardReader - 1  
機器を選択 ICardReader - 1

表示されている設定を確認します。

## 必要に応じて設定を変更する

The screenshot shows a settings page with four sections. A red rectangular box highlights the dropdown menus in the first, second, and fourth sections. The first section is '検査用スキャンツール' with '現在の設定 vci - 1' and '機器を選択 vci - 1'. The second section is '車検証二次元コード読取モード' with '読取モード2'. The third section is '車検証二次元コードリーダ' with '現在の設定 通信ポート (COM1)' and '機器を選択 通信ポート (COM1)'. The fourth section is '電子車検証ICタグリーダ' with '現在の設定 ICardReader - 1' and '機器を選択 ICardReader - 1'. At the bottom are '戻る' and '設定' buttons.

## 設定内容を確認して「設定」を押す

The screenshot shows the same settings page as the previous one, but with a red rectangular box highlighting the '設定' button at the bottom right. The rest of the page content is identical to the previous screenshot.

プルダウンリストを押して表示される項目から、設定したい機器やモードを選択します。

## 16. 関連情報を確認する

過去に実施したOBD検査の履歴や、車両についての参考情報（諸元表、リコール情報）を確認できます。

### 過去のOBD検査実施履歴を確認する

「OBD実施履歴参照」を押す

検査要否確認が完了すると、「OBD実施履歴参照」が押せるようになります。

**OBD検査モード** 事業場：OBDモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト

エンジンON（ハイブリッド車等はREADY）にして、「実行」ボタンを押下してください。

検査用スキャンツール vci - 1

**車検証  
二次元コード読取**

**電子車検証  
ICタグ読取**

**車両情報  
手入力**

車台番号  型式  リコール情報参照

類別区分番号  燃料の種類  諸元表参照

入力内容クリア

**検査要否確認**

結果  車名  データリンクコネクタの位置表示

前回判定結果  前回判定時刻  OBD実施履歴参照

位置詳細表示  
※この型式には複数の位置情報が存在します。

**実行**

検査結果/確認結果

判定時刻

結果詳細表示

結果詳細CSV出力

帳票PDF出力

中止

次の車両 >

# 内容を確認する

判定日時が表示されます。

OBD検査は「検査」、OBD確認は「確認」と表示されます。

OBDA実施履歴一覧

事業場：OBDAモーターズ港支店  
 利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

OBDA判定結果を確認してください。

車台番号 SHADAI3 型式 DAA-GVF50 類別区分番号 0003 燃料の種類 ガソリン

項番	判定日時	検査/確認	判定結果
1	2024/12/01 18:37	検査	適合
2	2024/11/15 15:00	検査	不適合
3	2024/10/01 15:39	確認	適合
4	2024/09/29 15:05	確認	不適合
5	2024/08/20 16:41	確認	適合
6	2024/07/15 15:42	確認	適合
7	2024/06/08 17:03	確認	適合
8	2024/05/01 15:44	確認	適合
9	2024/04/22 10:45	確認	適合
10	2024/03/31 15:10	確認	適合
11	2024/02/01 15:10	確認	適合
12	2024/01/21 15:48	確認	適合
13	2023/12/19 10:30	確認	適合
14	2023/12/19 10:25	確認	適合
15	2023/12/19 10:22	確認	適合
16	2023/12/19 10:20	確認	適合
17	2023/11/16 17:00	確認	適合
18	2023/09/11 14:35	確認	適合
19	2023/08/04 11:21	確認	適合
20	2023/07/05 16:12	確認	適合
21	2023/06/08 17:03	確認	適合

戻る

過去5年分、最大30件が表示されます。

この画面を閉じます。

判定結果が「適合」「不適合」で表示されます。

## 諸元表を確認する

「諸元表参照」を押す

検査要否確認が完了すると、「諸元表参照」が押せるようになります。

事業場: OBDモータース港支店  
利用者: 交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

ソールを取り外してください。

車台番号 型式  
1234 1234

リコール情報参照

類別区分番号 燃料の種類  
1234 ガソリン

入力内容クリア

諸元表参照

内容を確認する

型式ごとの諸元情報が表示されます。「内容」欄のリンクを選択すると、諸元表のPDFファイルがダウンロードできます。

諸元表参照

詳細内容を確認してください。

車名	車台番号	型式	類別区分番号
ト (G5WAP001) ヨタ	ABC-123456	5BA-MXPA10-AHFEB	0001

項番	諸元項目/諸元表名	内容
1	諸元表その1	<a href="#">PDFファイル</a>
2	諸元表その2	<a href="#">PDFファイル</a>
3	構造・装置の概要説明書	<a href="#">PDFファイル</a>
4	構造・装置の概要説明書	<a href="#">PDFファイル</a>
5	車台番号打刻様式	123
6	車台番号打刻位置	456
7	打刻様式/内燃機関、電動機1、電動機2	789
8	打刻位置/内燃機関、電動機1、電動機2	123
9	指定等年月日	456
10	軸距又は接地長	
11	駆動方式	123
12	騒音規制区分	456
13	騒音測定値-近接排気	789
14	原動機回転数-近接排気	123
15	主要排出ガス対策	456
16	車両許容限度(前軸重)(前前軸重)	789
17	車両許容限度(前後軸重)	123
18	車両許容限度(後前軸重)	456
19	車両許容限度(後後軸重)	789

閉じる

「内容」欄にリンクが表示されていない場合は、PDFファイルをダウンロードできません。

平成14年以降の型式指定自動車であり、かつ、自動車製作者等から諸元表情報が登録されている車両の諸元表を見ることができます。ただし、すべての情報を網羅しているわけではないため、あくまで参考情報として取り扱ってください。

## リコール情報を確認する

検査要否確認が完了し、車名コードが特定できる場合に、「リコール情報参照」のボタンが押せるようになります。

「リコール情報参照」を押す

リコール情報を確認する

事業場: OBDモータース港支店  
利用者: 交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

リコールを取り外してください。

車台番号 型式  
1234 1234

リコール情報参照

類別区分番号 燃料の種類  
1234 ガソリン

入力内容クリア 諸元表参照

対象車両のリコール届出をした自動車製作者等のホームページが、別ウィンドウ（Webブラウザ）で表示されます。

## 17. 【設定確認・関連情報確認講師デモ】

前のスライドでご紹介した、OBD検査（確認）に使用する機器の設定確認、関連情報の確認の操作について、アプリの操作をご覧ください。

デモ動画 ▶ [設定を確認する](#)

デモ動画 ▶ [関連情報を確認する](#)

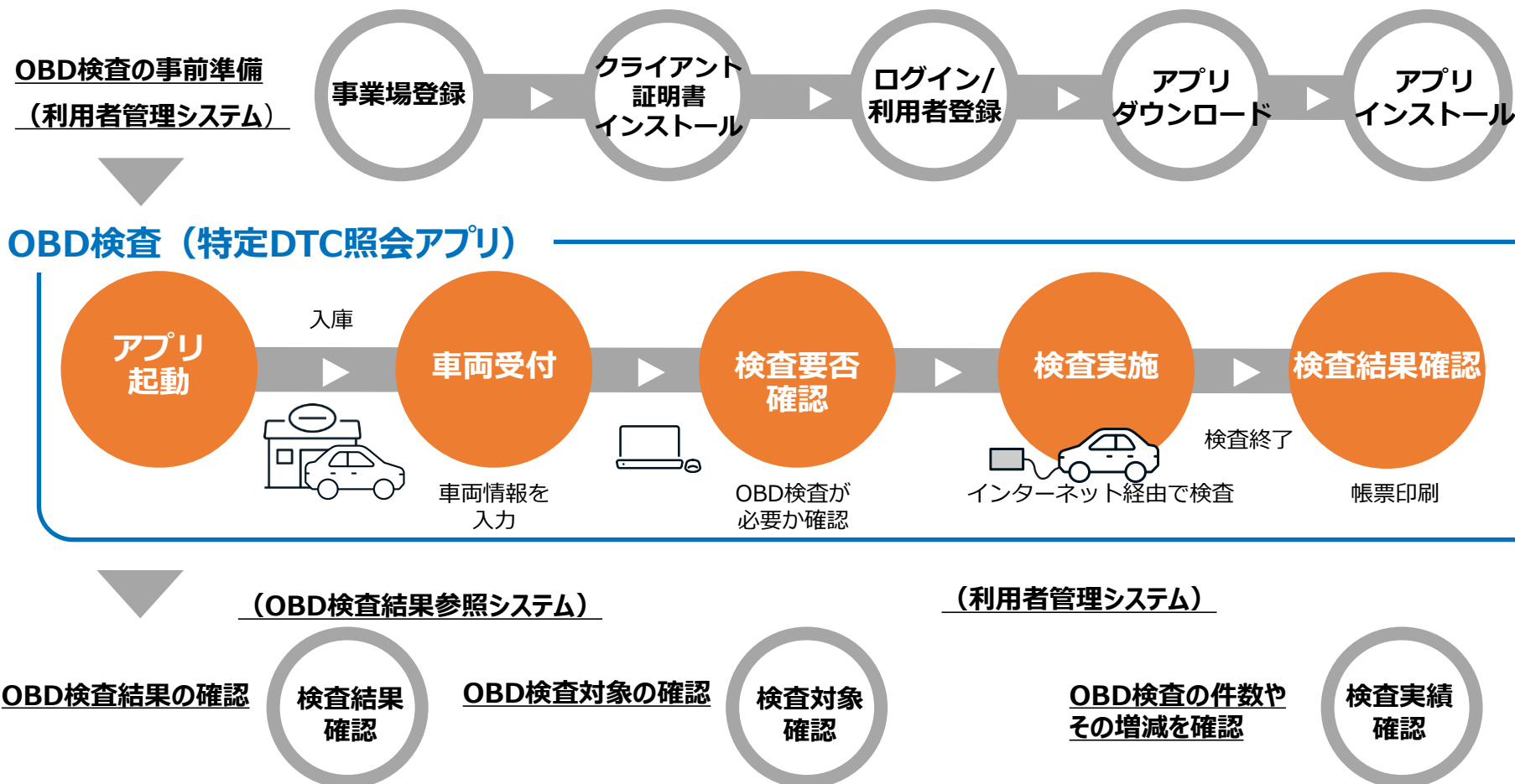
※デモ動画は外部サイトへ移動します。

## 18. まとめ

本研修でご紹介したアプリの機能をまとめます。

### ● 特定DTC照会アプリの機能概要

利用者管理システムでOBD検査の事前準備を行った後、アプリでOBD検査を行います。



※OBD検査結果をアプリとOBD検査結果参照システムで確認できます。



- **OBD検査の要否を自動で確認**

本アプリでは、画面の案内に従って車両情報を入力することで、車両がOBD検査の対象であるかどうかを自動判定します。

- **OBD検査の合否を自動判定**

OBD検査は本アプリとOBD検査用サーバーとの間で自動的に行われ、OBD検査の合否を自動判定します。

- **OBD検査結果の詳細確認**

本アプリで行ったOBD検査の合否、詳細な結果やOBD確認結果はOBD検査用サーバーに保存され、車両の情報として後からアプリで確認できます。

必要に応じて、検査結果を帳票（PDFファイル）やCSVファイルとして出力できます。

※検査結果は自動的にOBD検査結果参照システムに連携されるため、OBD検査結果参照システムからも確認できます。

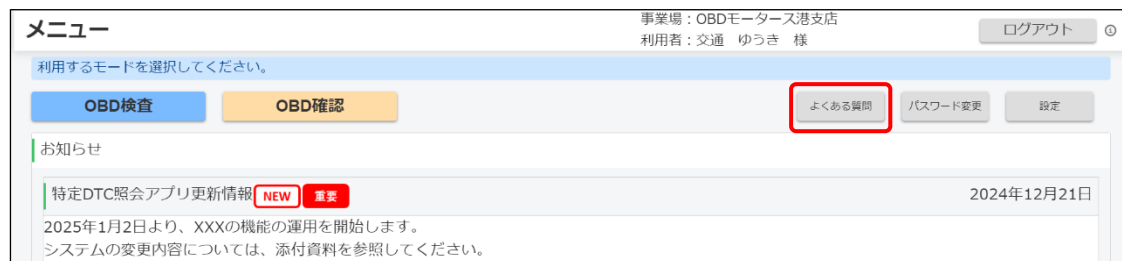
## 19. 困ったときには

アプリを利用してOBD検査業務を実施中に、困ったことや分からないことがあるときは、アプリの《よくあるご質問》画面やOBD検査ポータル、マニュアルを確認してください。

## 《よくあるご質問》画面

マニュアルのダウンロードや、よくある質問に対する回答の確認、チャットボットでの問い合わせができます。また、お問い合わせ先としてOBD検査コールセンターの電話番号が記載されています。

《メニュー》画面で「よくある質問」を押すと、《よくあるご質問》画面が表示されます。



各種マニュアルのリンク（青文字）を押すと、マニュアルのダウンロードや確認ができます。

▶を押すと、カテゴリごとの質問と回答が確認できます。

「チャットボット」を押すと、チャットボットの画面（質問に自動で回答してくれる画面）が開きます。

OBD検査コールセンターの電話番号が記載されています。

## OBID検査ポータルサイト

OBID検査に関する情報発信、学習支援メニューとして、「OBID検査ポータル」を設置しています。OBID検査ポータルでは、OBID検査システムへのログイン、マニュアルの確認、動画による自主学習、お知らせの確認、チャットボットでの問い合わせができます。また、検査用スキャンツールに関する情報が掲載されていますので、検査用スキャンツールに関するお問い合わせがあった際も情報を確認することができます。

# <https://www.obd.naltec.go.jp>



## お問い合わせ先

本アプリについてのお問い合わせ先は以下になります。

お問い合わせ先：**OB検査コールセンター**

**電話番号**：0570-022-574

**対応時間**：月曜日～金曜日（祝日および12月29日から1月3日を除く）9時00分～17時00分

## 20. 質疑応答

## 21. クロージング